

- 1 だいまくは、一ぎようめに、がつこう・かくねん・くみ・なまえは二ぎようめにかき、ぶんしょうは、三ぎようめの二ばんめのますからかきましよう。
- 2 だんらくのはじめは、かならず一じぎけてかきはじめ、だんらくごとにぎようをかえましよう。
- 3 しはどのぎようも三ばんめのますからかき、あたまをそろえましよう。

月 日 ようび

わたしのすきなやくしま
 かみ山小 二年し水 さつき
 わたしはやくしまのはるおにす
 んで五年目です。わたしのいえの
 近くのやくしまのすきなところを
 しまうかいします。
 一つ目は、いえから見えるモッ
 チョムだけです。晴れた日のけし
 きもいいけど、雨の日もいいです。
 なぜなら雨がふると白いたきがで
 きるからです。ふつうの大雨のと
 きは二本くらいで、たいふうのと
 きは四本くらいになつておくと
 からでもいきおいよくながれてい

(不許複製)

- 4 よみやすいように、と。をつけましよう。も。もひとますのなかにかきましよう。
- 5 おはなしたことは、「」のなかにいれましよう。
- 6 「は」と「わ」「へ」と「え」「お」と「を」とをまちがえずにつかいわけましよう。



- 1 だいくは、一ぎようめに、がつこう・がくねん・くみ・なまえは二ぎようめにかき、ぶんしょうは、三ぎようめの二はんめのますからかましよう。
- 2 だんらくのはじめは、かならず一じぎけてかきはじめ、だんらくごにぎようをかえましよう。
- 3 しどのぎようも三はんめのますからかき、あたまたをえましよう。

月 日 ようび

るのかわかります。太さもすごい
です。雨のあとにはじが出ること
もよくあって、見ることもでき
日はいいことがあります。
二つ目はせんぴろのたまげです。
たまにかぞくでさんぽに行きます。
さるが出てくるかな。
げじべえが見てる。
とかじょうだんを言いながら四十
分くらいののぼります。
とくにせんぴろのたまげで気にい
っているところは、あつんぼうだ
いからのけしきです。わたしのい
えを見つけたら、かんぱつてこんな

(不許複製)

- 4 よみやすいように、と。をつけましょう。も。もひとますのなにかきましよう。
- 5 おはなしたことは、「」のなかにいれましよう。
- 6 「は」と「わ」「へ」と「え」「お」と「を」をまちがえずにつかいわけましよう。



1 だいまくは、一ぎようめに、がつこう・かくねん・くみ・なまは二ぎようめにかき、ぶんしょうは、三ぎようめの二ばんめのますからかきましよう。
 2 だんらくのはじめは、かならず一じさげてかきはじめ、だんらくことにぎようをかえましよう。
 3 しはどのぎようも三ばんめのますからかき、あたまをそろえましよう。

月 日 ようび

にのばってこれたとうれしくなり
 ます。はるおのほかにむぎおやお
 のあいだのちくまで見えます。海
 やふねやまわりの山、モツチヨム
 だけも見えます。モツチヨムだけ
 はいえから見えるぶんと大きさが
 ちがうので、べつのも山にも見えて
 なんかふしぎです。
 この前かごしまのじいちが
 、「またやくしまに行きたい。」
 と言っていました。そのときわた
 しが「ここをあんないしたいです。」
 じいちやんもやくしまのことをも
 っともつとすきになると思います。

(不許複製)

4 よみやすいように、と。をつけましよう。も。もひとますのなにかきましよう。
 5 おはなしたことは、「」のなかにいれましよう。
 6 「は」と「わ」「へ」と「え」「お」と「を」をまちがえずにつかいわけましよう。

